

答弁書

日本貸金業協会
貸金業相談・紛争解決センター 御中

【事件番号】

【受付日】

申立人氏名・名称：

代理人の氏名等：

代理人の住所又は所在地：

代理人資格：

相手方氏名・名称：

住所：_____

代表者名：_____⑩

代理人の氏名等：

代理人の住所又は所在地：

代理人資格：

この手続に関する書類等を、上記の相手方の住所以外の場所で受け取ることを希望する場合には、その場所及び相手方がその場所で受け取ることを希望する理由をお書き下さい。

令和 年 月 日付で_____殿が行った当社を相手方とする苦情申立に対し、「紛争解決業務等に関する規則」第 80 条第 1 項の規定により下記のとおり回答いたします。

記

1. 申立の趣旨に対する答弁及び認否反論

2. その他

申立ての趣旨及び紛争の要点に対する回答の記載方法について

- ① 申立ての趣旨に対しては、相手の請求を認めるか、請求内容について話し合いを希望するかなど、現時点での考え方について記載してください。
- ② 紛争の要点に対しては、申立書で主張された事実関係について、誤りがないと考える部分、相違すると考える部分、わからない部分とを区分して、それぞれ「認める事実」、「否認する事実」、「不知である事実」として記載してください。否認する部分については、どのような事実であったと認識しているかを付記してください。
- ③ 相手方の主張、言い分については、上記②とは区別して記載してください。その際、事実に関しては、できる限り、いつ、だれが、どこで、何を行ったかについて明記してください。
- ④ 上記にかかわらず、申立人に対して苦情の解決のために和解その他の提案を行う場合には、可能な範囲でその提案内容を記載してください。なお、提案を行う意思はあるものの現時点で申立人に対して提案内容を提示することができない場合、本回答書とは別の用紙に提案内容の骨子を記載し、「貸金業相談・紛争解決センター限り」と朱書して提出するよう努めて下さい。この場合、当該書面は、申立人に対して送付されません。
- ⑤ 記入欄が不足する場合には、別紙に記載してください。